

令和5年度 学校評価(総括評価表)

1. 学校教育目標

- (1)心身ともに健全で人間尊重と助け合いの精神に満ちた、社会に貢献できる人間の育成に努める。
- (2)勤労と学業の両立を図り、進んで諸問題を解決しようとする自主的・自発的な姿勢を持つ人間の育成を図る。
- (3)生徒と教師相互の温かい人間関係を深めるとともに、個別指導の一層の充実を図り、基礎学力の向上に努める。
- (4)家庭と学校との連携を密にし、規則正しい生活習慣の確立と就労の指導を推進し、望ましい生活態度の育成に努める。
- (5)命を大切にすることを教育を推進し、交通安全教育に努める。

2. 本年度の重点目標

- (1)基本的生活習慣の確立を図る生徒指導を充実する。
- (2)勤労と学業の両立を図り、社会で自立する能力や態度を育成する。
- (3)自他を大切にすることを心や態度を育成する。
- (4)防災・安全教育の徹底と環境教育を推進する。
- (5)主権者教育・消費者教育・情報教育を推進する。

徳島県立名西高等学校校定時制課程

重点課題		自己評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
		重点目標	評価指標と活動計画	評価	
「基本的生活習慣の確立」	I) 個に応じた支援を実践し、生活習慣の確立と基礎学力の向上を図る。	評価指標	評価基準による達成度	総合評価 (評定)	
		①-1 進路に関する内容のホームルーム活動の実施回数。年間5回以上			
「社会で自立する能力や態度の育成」	I) 個に応じた支援を実践し、生活習慣の確立と基礎学力の向上を図る。	①-2 就職における関連機関等と連携し、進路講演会等を実施。年間2回以上		(所見)	
		①-3 アルバイト等校外での活動をしている生徒の割合。60%以上。(R4 55%)			
	(下位組織レベル)	②-1 基礎学力を定着させるための確認テスト(英国数)を実施する。年間3回以上			
	① キャリア教育を推進する中で、生徒の進路意識を明確にし、学習能力・態度を高める。 [進路課・生徒課]	②-2 学力検討会実施回数。年間5回以上			
	② わかる授業を実践するとともに、個々の生徒の学力について共通理解を図り、支援の方策を探る。 [教務課・進路課・各教科]	②-3 教員相互の授業参観。各学期に1回以上			
	③ 「総合的な探究の時間」を活用する。 [教務課・進路課]	②-4 授業評価による生徒の満足度・理解度の向上。満足度90%以上、理解度80%以上 (R4 満足度93.6% 理解度79.7%)			
		③ 「読書タイム」(始業5分前)に教室で静かに読書に取り組む生徒の割合 80%以上			
		活動計画	活動計画の実施状況		
		I) 生徒の実態について共通理解を図り、個に応じた支援を検討し、実践する。			
		①-1 進路に関する内容を取り入れたホームルーム活動を実施し、生徒の学習意欲を高めるとともに社会性を身につけさせる。			
		①-2 生徒の進路実現に向けて、進路講演会等			

		<p>のキャリア教育行事を系統的に実施する。</p> <p>①-3 アルバイト等校外での活動を推奨し、社会性を身につけさせる。</p> <p>②-1 英国数の授業で中学校の内容も取り扱い、基礎学力の向上を目指す。</p> <p>②-2 学力検討会を実施し、生徒の学力について共通理解を図り、支援の方策を探る。</p> <p>②-3 教員相互に授業参観を行い、他教科における生徒の理解度を把握し、授業改善に役立てる。</p> <p>②-4 授業評価の結果を分析し、授業方法の改善やわかる授業の実践に役立てる。</p> <p>③ 生徒の読書にいそむ習慣作りを進め、図書館の利用促進とともに、始業前の時間を利用し、生徒一人一人が落ち着いて授業に臨めるよう、また、授業を大切にすることを身につけさせる。</p>			
「自他を大切に する心や態度の 育成」 「主権者意識や防 災意識の高揚」	<p>(全校レベル)</p> <p>I) 生徒の人間関係構築力や社会性の育成を図り、自他を守る社会規範を身に付けさせる。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>① 異年齢間の交流や社会体験などを多く経験させる。 [各学年・特活課]</p> <p>② 校外での活動を推奨し、地域との繋がりを感じさせる。 [各学年・特活課]</p> <p>③ 個に応じた指導を実践する。 [各学年・特別支援コーディネーター]</p> <p>④ いじめを防止する。 [各学年・生徒課]</p> <p>⑤ さまざまな人権問題に対する意識を向上させる。 [各学年・人権教育課]</p> <p>⑥ 防災教育を充実させる。</p>	<p>評価指標</p> <p>I) 4月に比べ、人間関係構築力や社会性が向上したと考える生徒の割合。 90%以上 (R4 89.7%)</p> <p>① 学校行事への満足度。80%以上 (R4 100%) エンカルクラブ活動に対する生徒の満足度・理解度の向上。 80%以上 (R4 満足度 94.1%、理解度 96.6%)</p> <p>② 地域に貢献するボランティア活動の実施。 年間2回以上で参加率60%以上 (R4 実施回数2回、参加率90%)</p> <p>③ 生徒の状況について共通理解を図る機会の設定。 年間6回以上</p> <p>④ いじめを許さない体制と雰囲気作りを行い、アンケート実施により現状把握を行う。 (R4 いじめ1件)</p> <p>⑤ 人権問題に対する意識が向上したと感じる生徒の割合。 80%以上 (R4 86.2%)</p> <p>⑥ 防災訓練・避難訓練の実施。 年間3回以上</p> <p>⑦ 政治や選挙、政治的事象への関心が高まったと感じる生徒の割合。 80%以上 (R4 79.3%)</p> <p>活動計画</p> <p>I) 生徒一人一人の特性等について共通理解を図り、人間関係構築力や社会性の育成を目指した指導を実践する。</p>	<p>評価基準による達成度</p>	<p>総合評価 (評定)</p>	

<p>[各学年・環境教育課]</p> <p>⑦ 主権者意識を高める教育を推進する。</p> <p>[公民科・各教科]</p>		<p>① 魅力ある学校行事を実施し、より多くの生徒に異年齢間の交流や社会体験を経験させる。</p> <p>② 学校行事や生徒会活動のなかで清掃活動を実施し、地域に貢献する意欲を高める。</p> <p>③ 特別支援コーディネーターを中心に、特別な支援を要する生徒について共通理解を図る機会を設けるとともに、SC の助言等を仰ぎながら、個に応じた指導が実践できるようにする。</p> <p>④ いじめに関するホームルーム活動を行い、アンケートを実施する。</p> <p>⑤ 人権問題に関するホームルーム活動や講演会等の行事を系統的に行い、アンケートを実施する。</p> <p>⑥ 停電時を想定した訓練など、効果的な防災訓練や避難訓練を実施する。</p> <p>⑦ 公民科を中心として各教科の授業や学校行事で主権者教育を実施する。</p>				
--	--	--	--	--	--	--